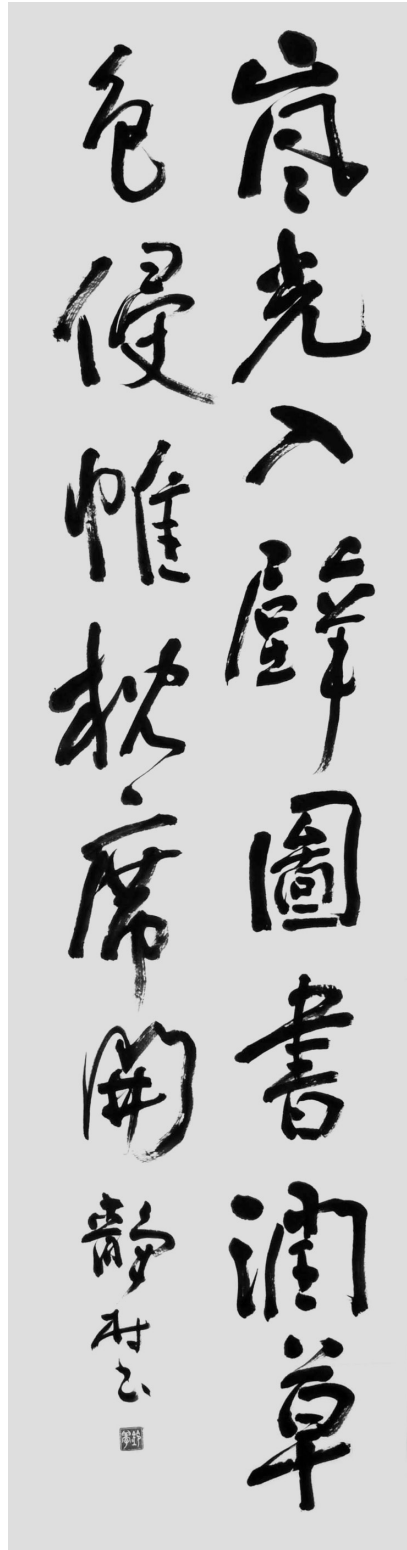


鈴木静村先生書

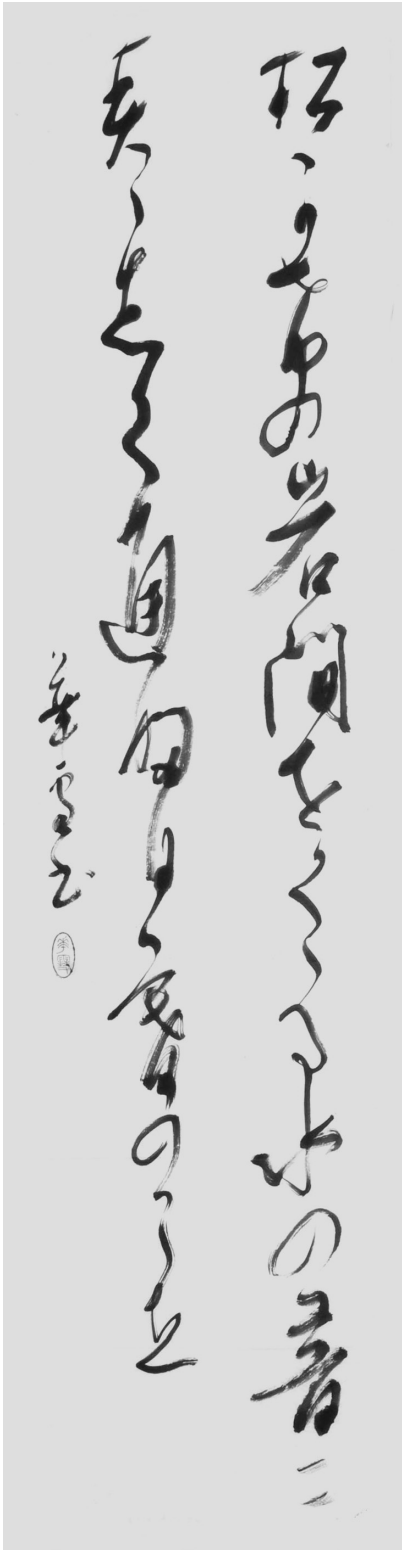
嵐光入壁圖書潤 草色侵帷枕席開 (良琦)
 嵐光壁に入り圖書潤い、草色帷を侵して枕席開く。



訳：山気の蒸しあう光は壁間に入ってきて書籍をしめらし、階前の草の色はとばりを侵して部屋に入ってくる。

平岡華雪先生書

松かげの岩間をくぐる水の音に涼しく通ふ日暮らしのこゑ (式子内親王集)
 松かげの岩間をくぐる水の音に涼しく通ふ日暮らしのこゑ (式子内親王集)
 松可希の岩間を久くる水の音に春、志久通婦日暮のこ恵



予告 昇試第一部漢字 (九月二十二日締切)

雁將秋色來平野 鴉帶寒光過遠林 (梁潛)

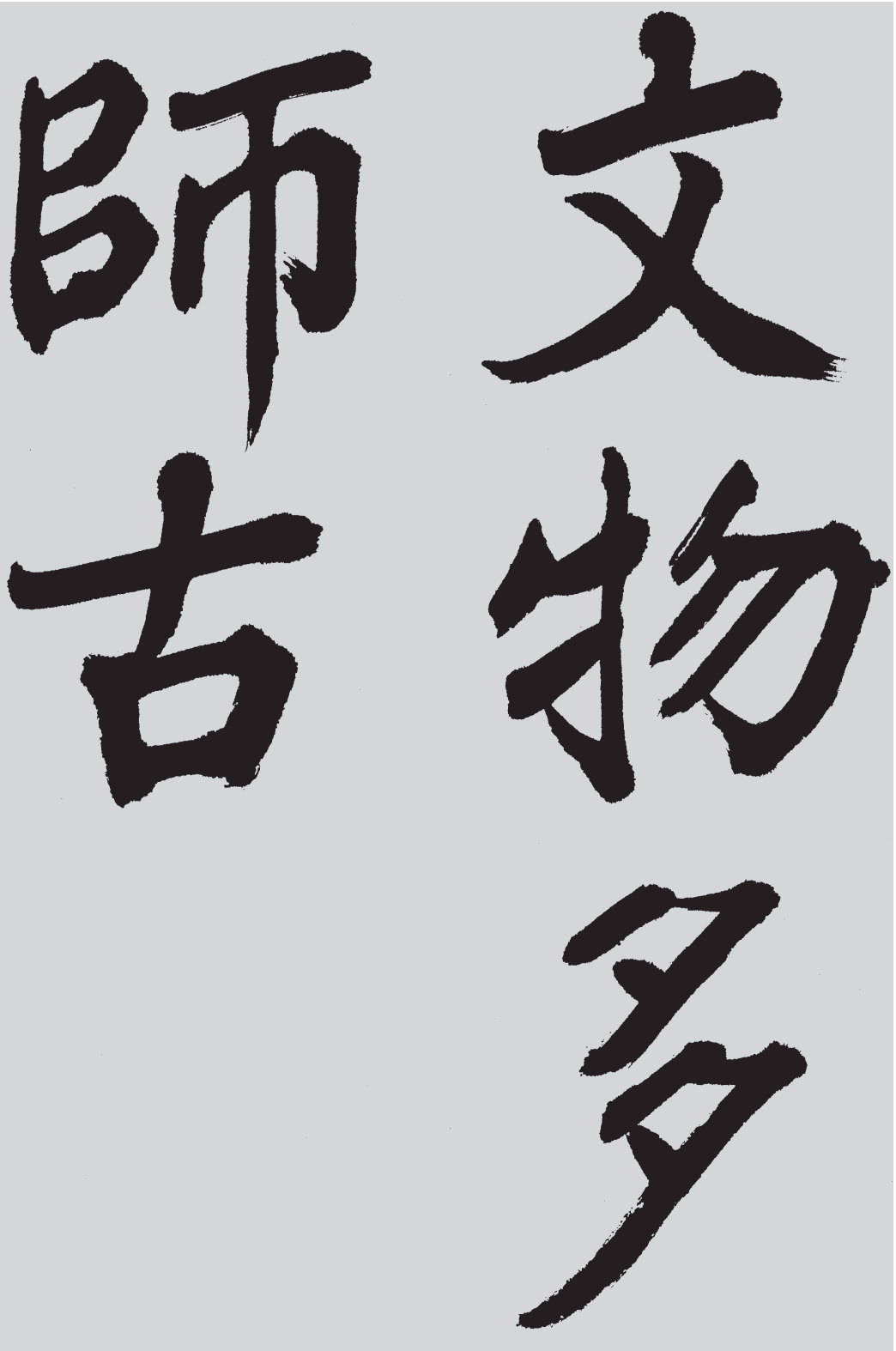
予告 昇試第一部かな (九月二十二日締切)

山脈のとほくかかりてまどかなる月は今宵を満ちたるらしも (松村英一)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

文物多く古を師とす(杜甫)



訳：文化にかかわるものは古い時代を手本とする。

▼注意：…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ① 漢字部
 - ② 支部名または都道府県名
 - ③ 氏名または雅号
 - ④ 新
- 会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

平岡華雪先生書

夏の星しづめて山湖闇ふかし(田郷)

夏の星
しづめて
山湖
闇ふかし

予告 昇試第二部かな(九月二十二日締切)

ききそめし秋にもましてさびしきはみぞるる暮の雁のひと声(香川景樹)

外川霞夕先生書

長日一筒荷葉酒 豊年萬頃稻花香
 長日一筒荷葉の酒、豊年万頃稻花の香。

長日一筒荷葉酒 豊年萬頃稻花香

訳：長い夏日に飲むによいのは蓮の茎より葉を入れた酒で、やがて豊年らしく広い田に咲いた稲花が匂うのである。

立川遊汀先生書

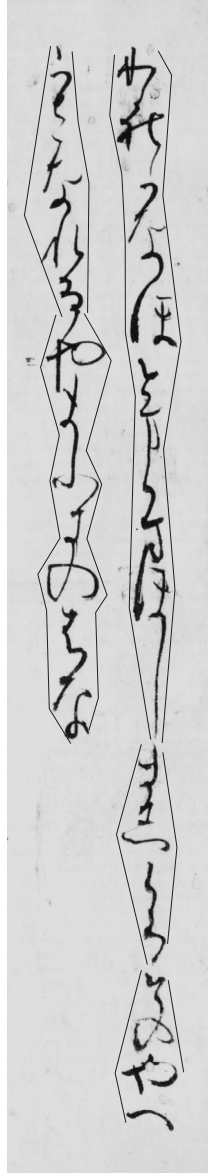
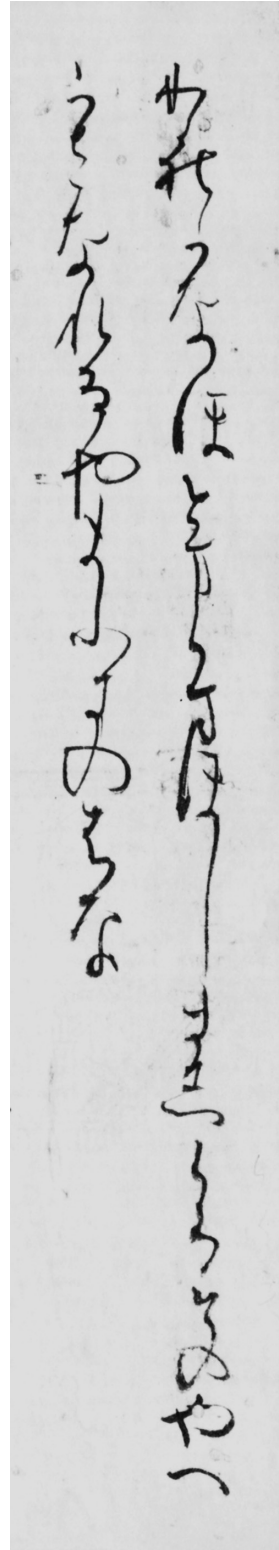
夏野行く小鹿の角の束の間も妹が心を忘れて思へや（万葉集 柿本人麿）
 夏野ゆく小鹿の角能束の間も妹がこゝろを王春連て思へ也

夏野行く小鹿の角の束の間も妹が心を忘れて思へや

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料500円）

条幅臨書部課題

石原春香先生担当 和泉式部続集切 伝 藤原行成（日本書学大系・法書篇） ※条幅臨書部は出品料無料です。



わがなほとまらまほしき
しらくものやへかさなれるやま
ぶきのほな
わ礼可なほと方ら万ほし支志
らく毛のやへ可さなれるやま
ふ支の者な

△学び方▽

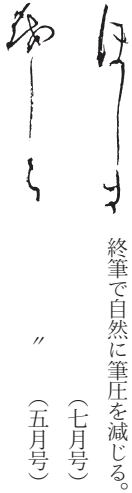
ここでは「ほ」の字に注意してみましょう。一画目は前の字を受けて筆圧が加わってずっしりとしています。一画目の「偏」が太く「旁」は細くなっています。「万」についても上の「万」は細く下の「万」はずっしりと変化をつけています。「やまぶきの者な」は二行目の小粒なながれと対照的に間をとり明るくなっています。

和泉式部続集切は関戸本古今集の様に文字の懐が

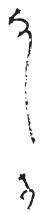
広くはありませんが、連続された文字の集団は外形の変化が美しい。

△連続▽

「し」の変化



筆圧の加わった状態で急に筆先を紙面から離す。
(四月号)



送筆の途中で筆を絞り、送筆で筆圧を加えて跳ねあげる。
(五月号)



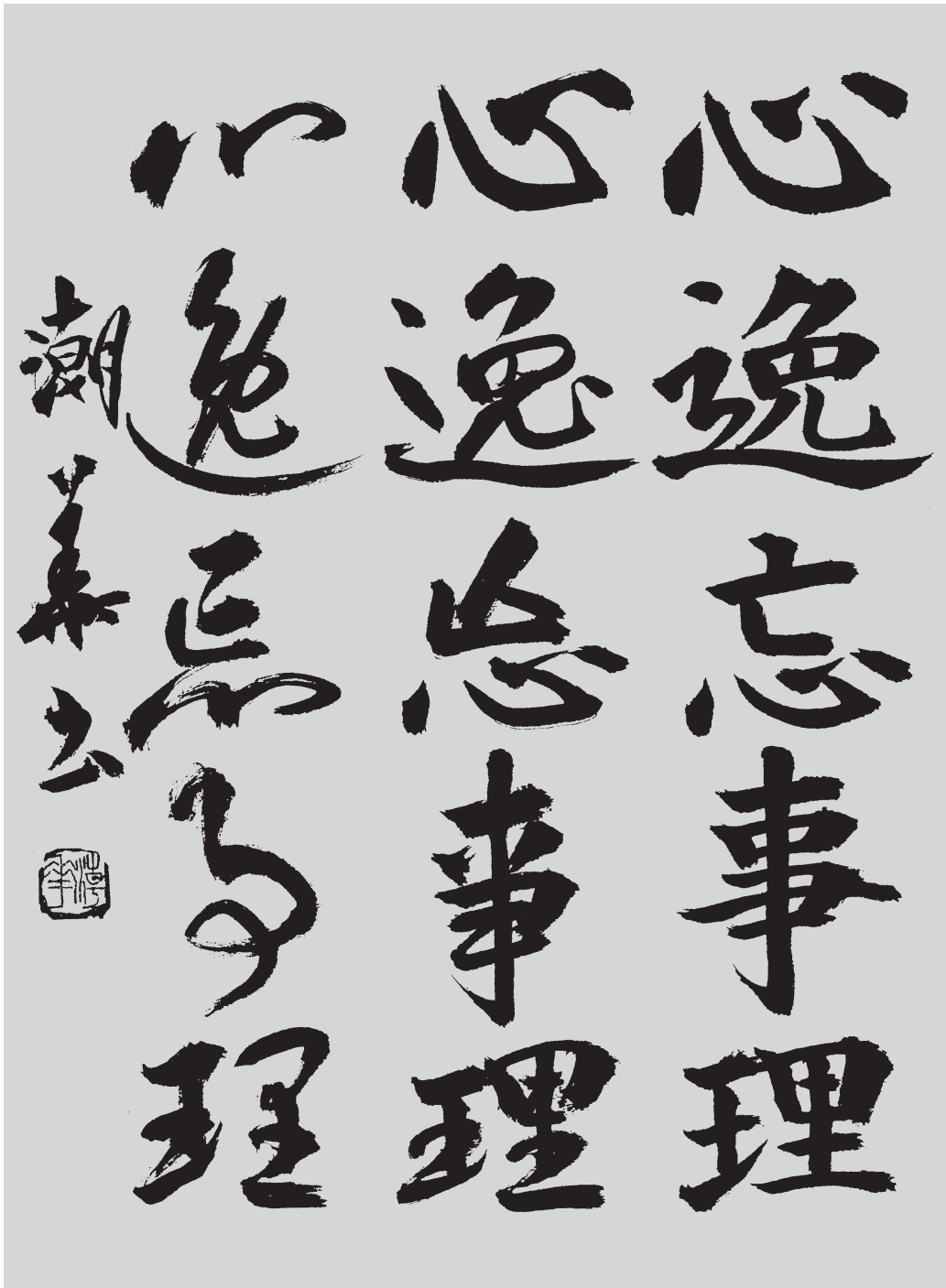
送筆中に筆圧を変化させての息の長い表現。
(六月号)

◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

水 貝 潮 華 先 生 書

心逸忘事理（黄公望）
心逸に事理を忘る。

訳：心ほしいままに物事の理を忘れてしまう。



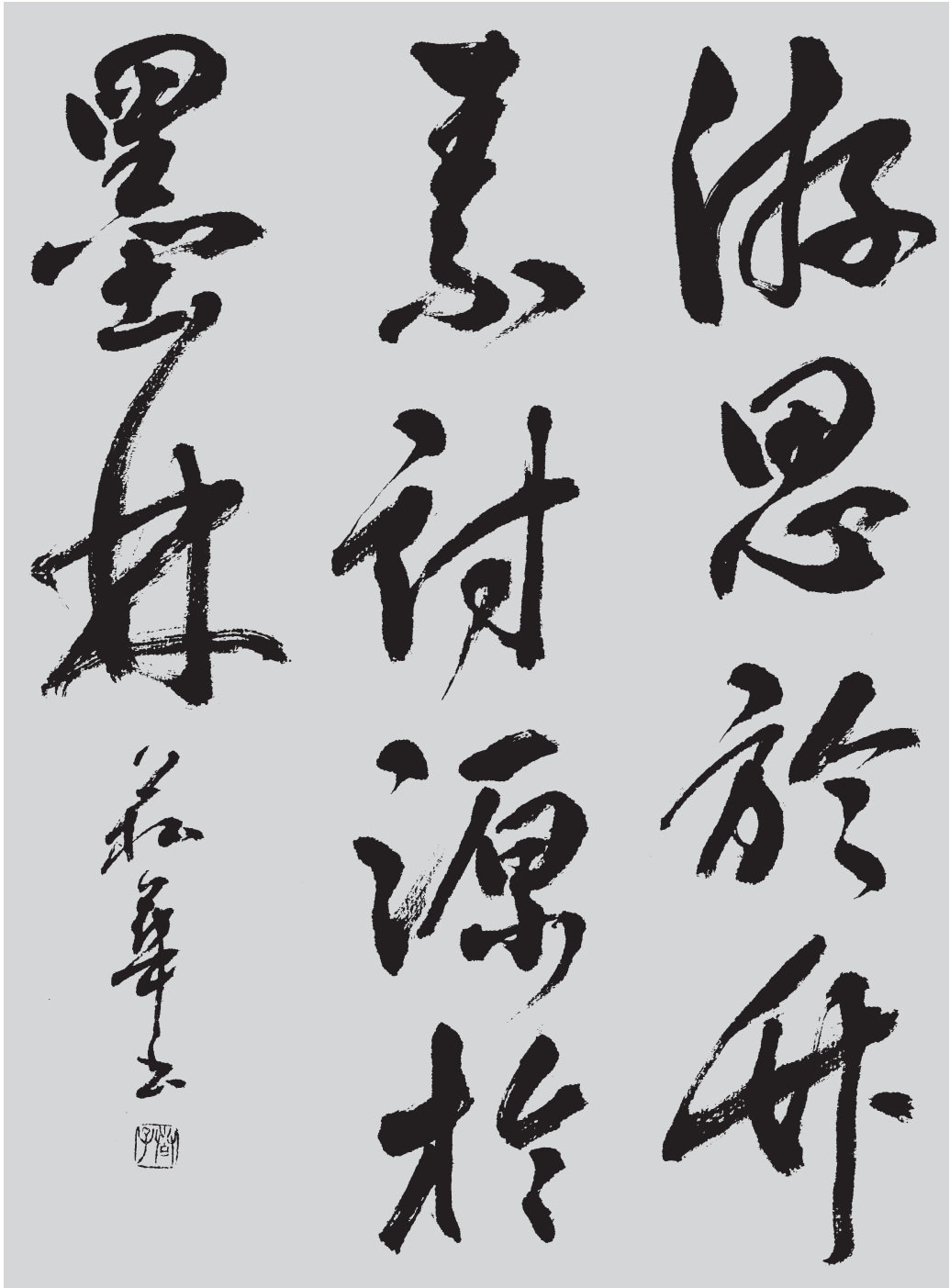
予告 昇試第二部漢字（九月二十二日締切）

閑時自養神（周憲王）

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

小暮 菘 華 先 生 書

游思於竹素 討源於墨林 (謝鳴恭)
思を竹素に游し、源を墨林に討ぬ。

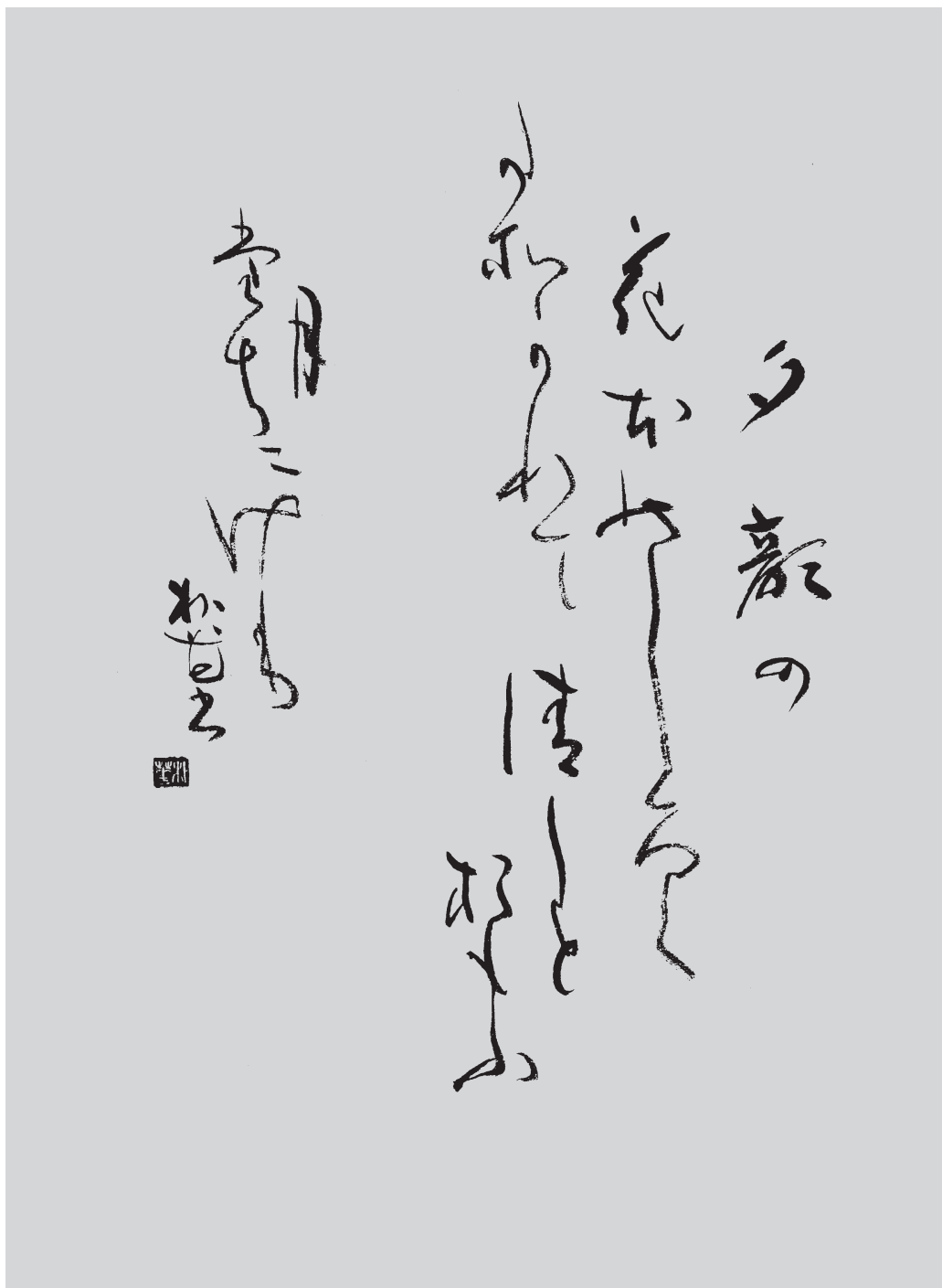


訳：竹素は、書籍、竹帛墨林は、かきもの、絵。
書画をみ、本を読んでたのしみ、その根本を書きものや画の中に討究する。

添削又は手本希望者は本会規定により、小暮菘華先生（〒107-0052 港区赤坂4-3-5）に直接お申し込みください。

向
山
朴
花
先
生
書

夕顔の花はの白くたそがれて清しと思ふ月立ちにけり（島木赤彦）
夕顔の花本能しろ久多所可れて清しと於もふ月堂ち二けり



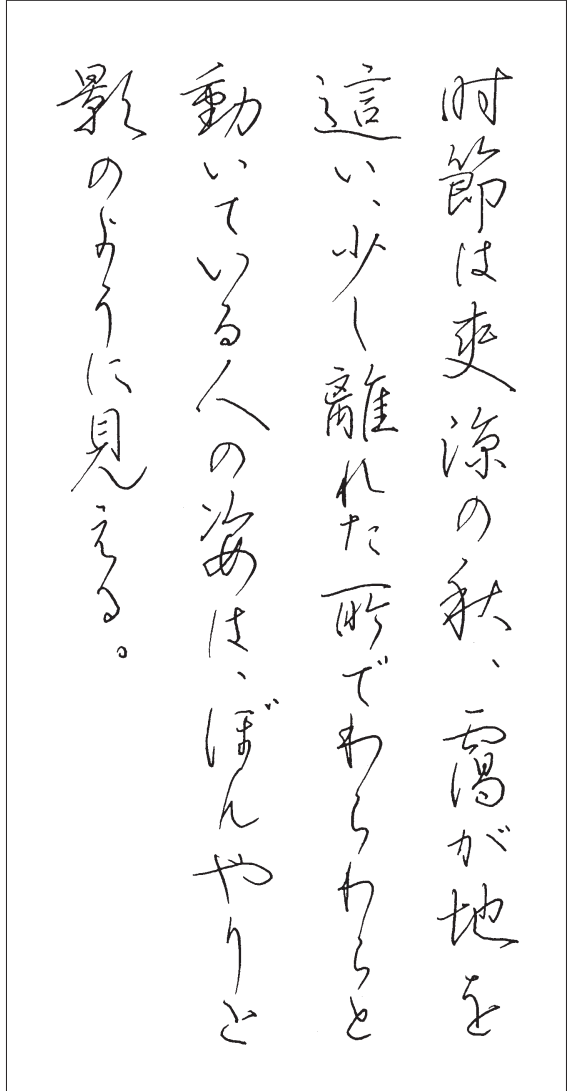
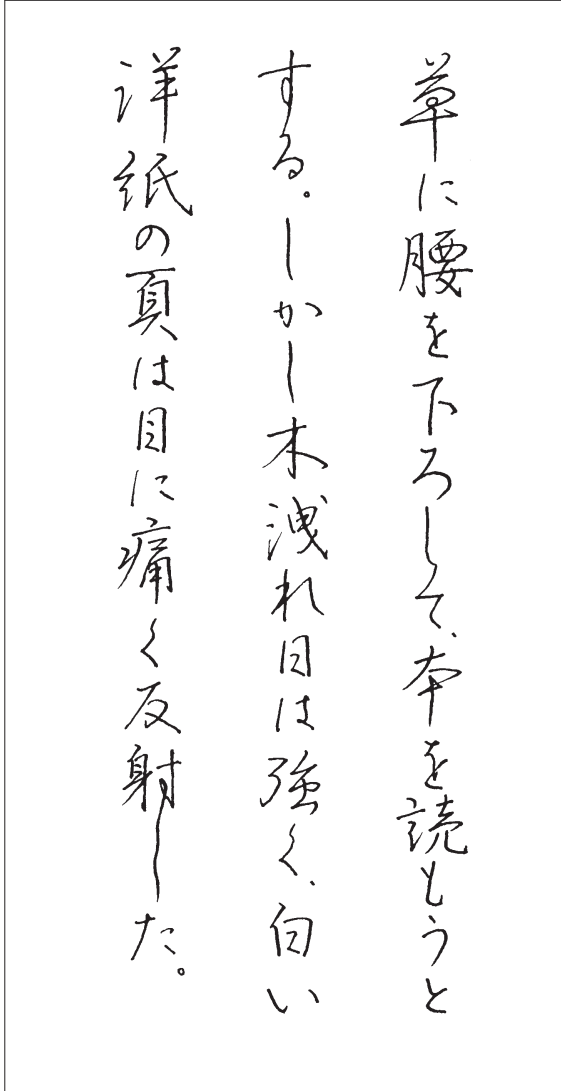
添削又は手本希望者は本会規定により、向山朴花先生（〒154-0022 世田谷区梅丘3-12-22）に直接お申し込みください。

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段格以下)

課題1 (初段以上)



課題1 (初段以上)

時節は爽涼の秋、霽が地を、少し離れた所でわらわらと動いている人の姿は、ぼんやりと影のように見える。

〔宮尾本平家物語〕宮尾登美子

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に、次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (3) 会員は無料・会員外は四〇〇円
- (4) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと)。
- (5) 課題1 六〇〇円
- (6) 課題2 三〇〇円

課題1 路川千曄先生 三〇七〇二二三

課題2 湯澤春翠先生 三七一〇二六

前橋市城東町一ノ二九ノ五

課題2 (初段格以下)

草に腰を下ろして、本を読もうとする。しかし木洩れ日は強く、白い洋紙の頁は目に痛く反射した。

〔沈める滝〕三島由紀夫